

転倒 災害を防止せよ

すべらない こぼさない 大分県



大分労働局 労働基準部 健康安全課

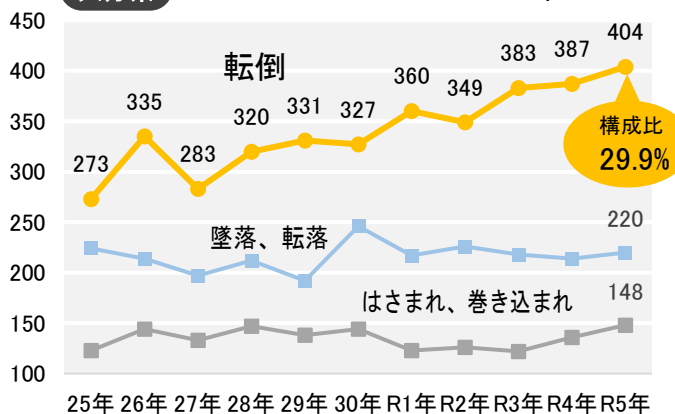
大分県では、労働災害のうち、転倒災害が29.9%を占めています 令和5年

厚生労働省などでは、平成27年から転倒災害防止に取り組んできましたが、大分県では、依然として、転倒災害の増加傾向に歯止めがかからず、休業4日以上労働災害の中で転倒災害が全体の29.9%を占め、最も多くなっています。

令和5年度から始まった第14次労働災害防止計画においても、転倒災害を労働者の作業行動に起因する労働災害として位置づけ、災害件数の減少を目指しています。

本ページでは、大分県における転倒災害の特徴と効果的な転倒災害防止対策を解説します。

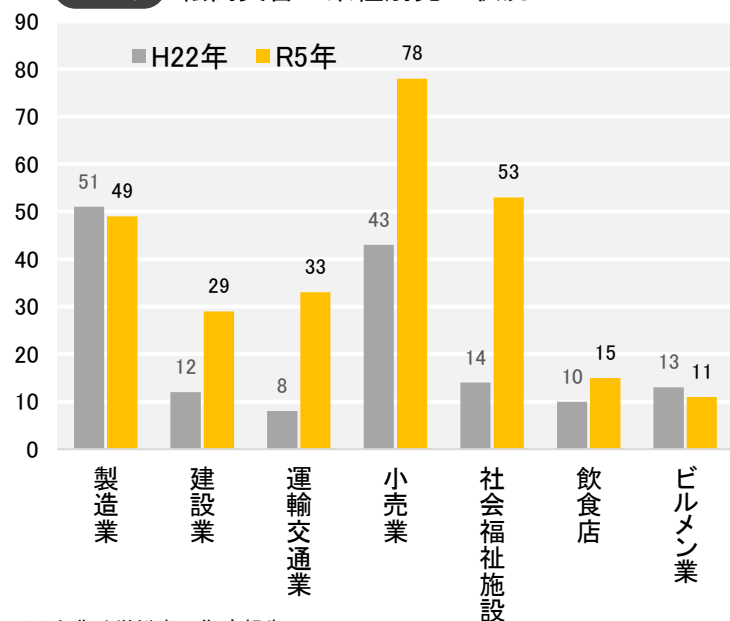
大分県 事故の型別労働災害の推移 | 全産業



25年 26年 27年 28年 29年 30年 R1年 R2年 R3年 R4年 R5年
※出典は労働者死傷病報告

転倒災害の約7割は、第三次産業の職場で発生しています

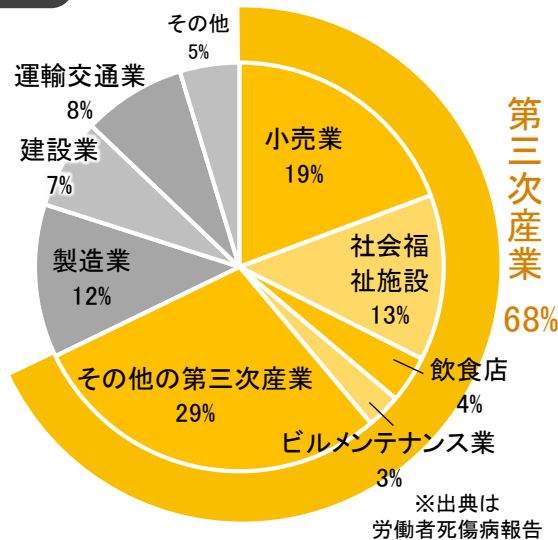
大分県 転倒災害の業種別発生状況



※出典は労働者死傷病報告

- ☞ 転倒災害は、平成22年と比較すると、製造業以外の主要産業で増加しています。
- ☞ 転倒災害のうち、68%が第三次産業の職場で発生しています。
- ☞ 平成22年との比較においても、第三次産業の増加率が高くなっています。
- ☞ 転倒災害の起因物は、「通路」が最も多く、44%を占めています。

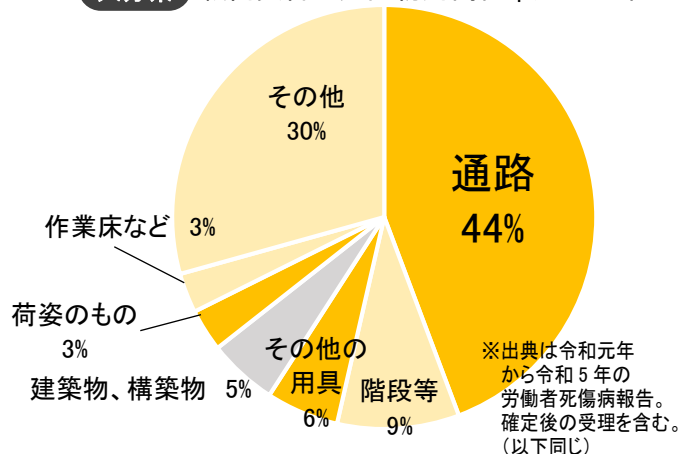
大分県 転倒災害の業種別発生割合 | 令和5年



※出典は労働者死傷病報告

転倒災害の起因物の半数は「通路」です

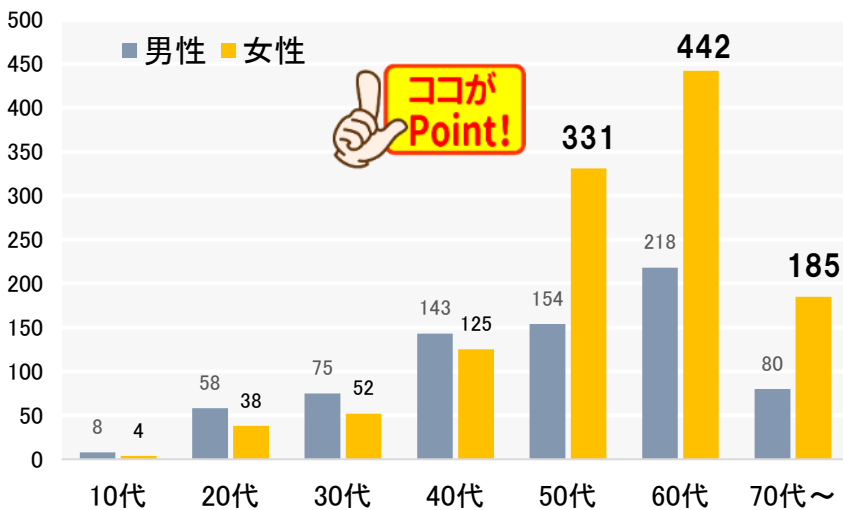
大分県 転倒災害の起因物別割合 | 過去5年



※出典は令和元年から令和5年の労働者死傷病報告。確定後の受理を含む。(以下同じ)

転倒災害の50%は、50歳以上の女性が被災しています

(人) 大分県 転倒災害の年代別・男女別発生状況 | 過去5年



※出典は令和元年から令和5年の労働者死傷病報告。確定後の受理を含む。

- ☞ 5年間の男女別発生件数は、男性：736 女性：1,177 と女性が多くなっています。
- ☞ とくに50歳以上の女性の発生件数が多く、全体の50%を占めています。
- ☞ 50歳以上の男女比は概ね1：2となっています。

✓ 50歳以上の女性労働者への転倒災害防止の取組が必要です。

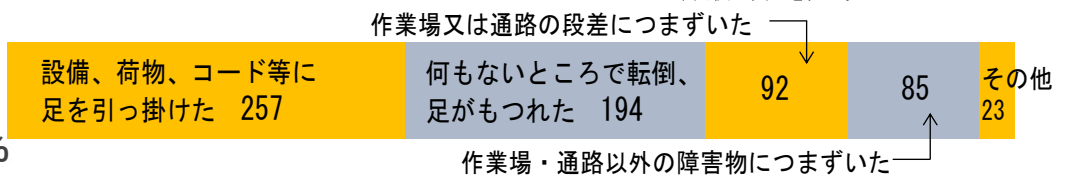


発生状況別では、つまずきが54%を占めています

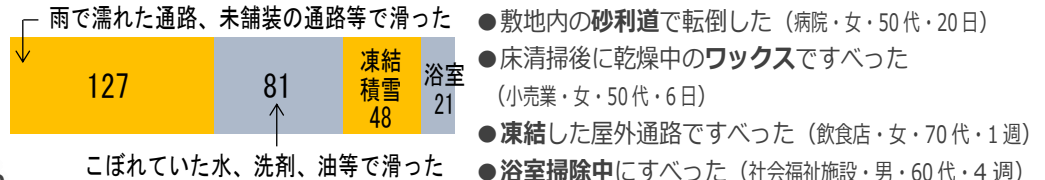
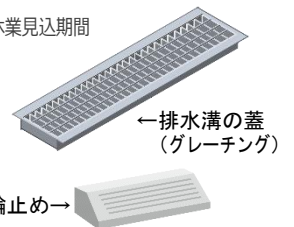
大分県で過去3年間（令和3年～5年）に発生した転倒災害を、発生状況別につまずき、すべり、踏み外しに分類した結果と、各発生状況別の災害事例は以下のとおりです。

大分県 転倒災害の発生状況別分類 | 過去3年

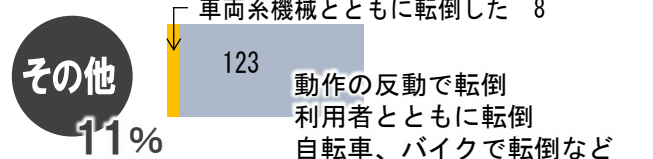
※出典は令和3年～5年の労働者死傷病報告。確定後の受理を含む。



- 停めていたフォークリフトの爪につまずいた（食料品製造業・女・60代・2週）※期間は休業見込期間
- 走って移動中、パレットにつまずいた（電気機器用・通信機器用部品製造業・男・30代・9日）
- 厨房で作業台の脚に、足が引っかかった（社会福祉施設・女・70代・24日）
- 出入口の泥落としマットが浮いていたため、つまずいた（小売業・女・50代・3週）
- 扇風機のコードに足を引っかけた（印刷・製本業・女・70代・1か月）
- 病院の廊下を小走りで移動中、つまずいた（病院・女・50代・1か月）
- 調理室内で清掃中、排水溝の蓋を開けていたところ、排水溝に足が落ちた（食料品製造業・女・40代・6週）
- お客様の荷物を運んでいるときに駐車場の車輪止めにつまずいた（タクシー業・男・50代・2か月）



- 敷地内の砂利道で転倒した（病院・女・50代・20日）
- 床清掃後に乾燥中のワックスですべった（小売業・女・50代・6日）
- 凍結した屋外通路ですべった（飲食店・女・70代・1週）
- 浴室掃除中にすべった（社会福祉施設・男・60代・4週）



- 階段を下りていたところ、最後の1段を踏み外した（小売業・男・60代・1か月）
- 踏み台（高さ50cm）に乗って商品整理中、床面に降りる際に転倒した（小売業・女・70代・40日）
- 勝手口の踏み台の段差を踏み外した（飲食店・女・50代・1か月）